

【総合プロデューサーからのメッセージ】

矢櫃を照らしたい。そう考えたのは実は数年前になります。移住交流拠点施設「くらしちやる矢櫃」を利用する機会から矢櫃という場所を知り、こんな美しい場所があったことに驚きました。

朝起きると鳥の声と共に船の音が響き渡り、バイクの走るどこか懐かしい音が続く。空気も海の色も美しく、その空気と青く澄んだ海的美しさが逆に人口減少を物語っているように感じました。

その時既に「ここをライトアップしたらどうなるか」とパースを描いていました。斜面に家が建ち並ぶまるでヨーロッパのような景色は、一度坂道を降りないと見られない貴重な眺めです。そして、白い建物が多いう特徴もあり「ここをライトアップできたらきれいだろうな」と考えたのを覚えています。

それから数年経って、矢櫃ビレッジができたことにより矢櫃は少しずつ知られるようになってきました。マリンアクティビティの体験施設もできたことにより、神秘的な海上の洞窟に入ったり、誰もいないビーチに上陸したりと、さらに魅力的な矢櫃を楽しむことができるようになってきました。「矢櫃」の名前が認知され始めた今こそ、温めたライトアップ企画を実行することで、矢櫃への関心を高めてもらえる時だと思に至りました。

今回のライトアップは以前描いたパースをベースに、2つのメッセージを込めました。1つはこの場所の魅力伝えるための全体的なライトアップ。そしてもう1つが空き家を照らすことで人口減少の現状を知ってもらうためのライトアップです。

私たちの企業理念は「光の演出で人の心を彩る」、そしてそのために「今ある光の入れ替えではなく、今暗い場所に光を灯す」。連動する2つの光は、私たちが今何をできるのか考えて生まれたインスタレーション・アートです。ライトアップを通じて、多くの人にそれぞれのメッセージを感じてもらえれば何よりです。

株式会社タカショーデジテック
代表取締役社長 古澤良祐

